

ビーチバレーボール 4人制競技規則

まえがき

1996年のアトランタオリンピックで正式種目として採用された2人制ビーチバレーボール競技は、わが国においてもめざましい普及、発展を遂げてきている。

その一方では、競技性の高い2人制に比べて、より身近に行える競技形態としての4人制や最近では男女ミックス4人制の大会が全国的に行われるようになってきた。

しかし、各地で行われている4人制の大会では、取り扱われているルールが異なっているため全国的に統一したルールの確立を求める声が高まり、その結果、全国からの意見、要望を集約して最終的な4人制のルールとしてまとめた。

競技の特性

本競技規則は、ビーチバレーボール2人制競技規則に準拠するが、次のような競技特性を持っている。

選手は2人制同様に、位置による一切の制限を受けずにコート内で自由にプレーすることができる。

サーブスは、チームのサーブオーダーにしたがって打たれるが、男女ミックス4人制では、男女交互に行われなければならない。サーブス権が移行しても、ローテーションはしなくともよい。

1 チームの構成

一つのチームは、4人の選手と2人の交代選手および監督1人の最大限7人で構成される。

男女ミックスでは、一つのチームは、4人(男女それぞれ2人)の選手と2人の交代選手(男女どちらでもよい)および監督1人の最大限7人で構成される。

試合中、コート上では常に男女それぞれ2人がプレーしなければならない。

2 ネットの高さ

- 1 男子 2.43 m
- 2 女子 2.24 m

- 3 男女ミックス 2.30 m

- 4 16歳以下 男子 2.25 m
女子 2.20 m

3 キャプテン

- 3.1 選手の1人はチームキャプテンである。

- 3.2 試合中、チームキャプテンは、コート上にいる間は、ゲームキャプテンとして行動する。コート上でプレーしない場合は、コート上でプレーしている他の選手をゲームキャプテンとして指名しなければならない。

4 監督

- 4.1 試合開始前、およびそれぞれのセット開始前にサーブ順を記録員に伝えなければならない。

- 4.2 タイムアウトと選手交代を要求することができる。

- 4.3 試合中、交代選手と同様にベンチに座って、コート上の選手に指示を与えてもよい。

5 競技者の服装

- 5.1 選手のユニフォームは、清潔で、デザインと色はチームにより統一されたものでなければならない。(男女ミックスは、男女それぞれに統一されたものを着用する。)大会規定で定められている場合はこれに従う。

- 5.2 選手は、ユニフォームに1番から99番までのナンバーを付けなければならない。それができない場合は、番号のついた腕章を付けるか、直接、腕に番号を書くこと。

6 試合形式

6.1 1セットマッチの場合

最小限2点差をつけて25点を先取したチームがその試合の勝者となる。24対24の同点になった場合、試合はどちらかのチームが2点リードに達するまで続行される。

6.2 3セットマッチの場合

第1・2セットは21点を、第3セットは15点をそれぞれに最小限2点差を

つけて先取したチームがそのセットの勝者となる。20 対 20 (第 1・2 セット) および 14 対 14 (第 3 セット) の同点になった場合、試合はどちらかのチームが 2 点リードに達するまで続行される。

7 選手の交代

7.1 チームは、1 セットにつき最大 4 回の選手交代が認められる。一度に複数の選手が交代できる。しかし、1 チームは、同じ試合中断中に連続して選手交代をすることは許されない。また、どちらのチームも相手チームに連続して要求することができ、この場合、試合の再開は必要ない。

7.2 試合開始時にコート上にいた選手は、交代によりコートを離れた後も、そのセット中に 1 回のみコートに戻るることができる。

7.3 交代選手は、1 セットにつき 1 度だけ、コート上の 1 人の選手と交代して試合に参加することができる。その交代選手は、先に交代した選手とのみ、再度交代することができる。ただし、男女ミックスにおいては、交代することによって、コート上の男女の構成が変わることは許されない。

7.4 交代選手は、試合再開の後、一つのラリーが終了していなければ、再び交代してベンチに戻ることはできない。

7.5 選手が負傷した場合、正規の選手交代をする。しかし、それができないときは、例外的にどの交代選手とも代わることができる。この場合も、コート上の男女の構成が変わることは許されない。

8 ボールをプレーすること

ヒットの特性：ボールは身体への接触が同時であれば、いくつかの箇所に当たっても反則ではない。

8.1 プロックのとき、ボールが 1 人あるいはそれ以上のプロッカーに連続 (素早く連続的に) して触れても、それが一つの動作中であれば許される。

8.2 チームにおける第 1 回目のプレーでは、それがオーバーハンドで指を用いたプレーであっても (強打されたボールでなくとも)、ボールが身体の 2 カ所以上に連続して当たっても、一つの動作中のものであれば許される。

9 サーブス順

コイントスの後に監督またはチームキャプテンによって通告されたサーブス順を守らなければならない。ただし、男女ミックスでは、それぞれのチームのサーブス順は、男女交互に行われなければならない。そのときセットの最初の

サーバーは、男女のどちらが先に打ってもかまわない。

10 アタックヒット

アタックヒット中のテイクピングは、ボールへの接触が明瞭であり、つかんだり、投げたりしなければ許される。

11 プロックのボールへの接触

プロックへの接触は、そのチームの 1 回目のプレーとして数えられず、チームはその後、さらに 3 回のプレーができる。

12 タイムアウト

タイムアウトは、それぞれのチームともに、1 セットにつき 1 回 (30 秒間) である。

13 セットまたは試合の没収

コート上の選手が負傷およびその他の理由によって、3 人以下になった場合、男女ミックスでは、コート上の選手の男女の構成が維持できない場合にはセットまたは試合を没収する。

14 コートスイッチ

14.1 1 セットマツチの場合

両チームの得点合計が 10 点の倍数ごとにコートスイッチをする。

14.2 3 セットマツチの場合

第 1・2 セットでの試合途中のコートスイッチはないが、第 3 セット (最終セット) では、どちらかのチームの得点が 8 点に達したときに、コートスイッチをする。